

3PL事業(国内)

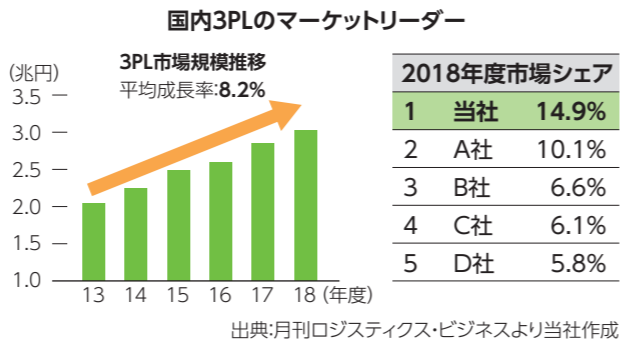
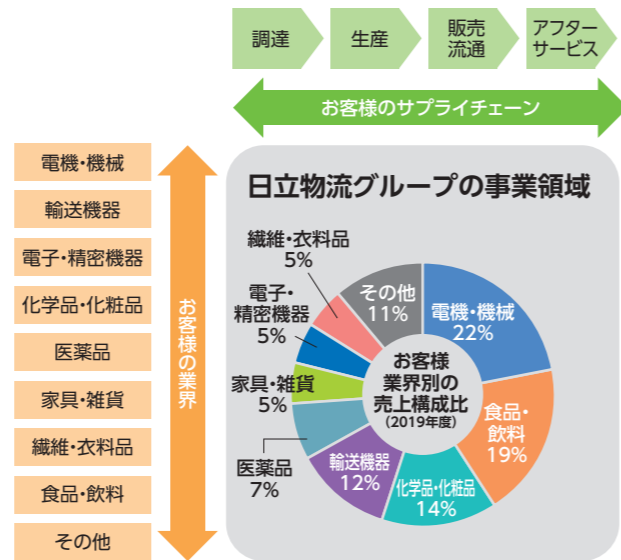
調達、生産から、販売や流通、アフターサービスまで、お客様のサプライチェーンのさまざまなステージにおける物流業務について、包括的なアウトソーシングサービスと、それを支える管理システム(WMS)で、サービス水準と物流効率の向上を可能にします。先駆者ならではの豊富なノウハウとコンサルティング力、各種インフラを駆使し、さらに最新テクノロジーを導入することで、最適なサービスを提供するとともに、常に進化の歩みをリードしています。

主なサービス内容

- ・**調達物流**: 部品・資材の引き取りから保管・キitting・生産ラインへの納入まで、一貫して対応します。
- ・**生産物流**: 資材や製品の管理・包装・発送など、工場内物流をお客様のオペレーションに精通したプロフェッショナルが最適化します。
- ・**販売物流**: 保管・配送・情報が一体化した3PLを構築し、在庫管理・入出庫作業から受注代行業務まで高品質なサービスをご提供します。
- ・**静脈物流**: 顧客満足につながる円滑な返品サービス、リユースやリサイクルのための回収サービス、高度な専門知識と技術を要する廃棄処理サービスなど、静脈物流サービスのソリューションを各種提供しています。

市場における日立物流グループの位置づけ

日立物流グループは、成長を続ける国内3PL市場において、幅広い業種・業界のお客様の企業物流業務を包括的に受託しているマーケットリーダーです(右図参照)。1980年代からサービスを提供している業界の先駆者であり、豊富な実績に裏打ちされた設計力・運営力と、お客様それぞれの業界に特化した専門家集団によるきめ細かいサービス提供で、日本のサプライチェーンを支え続けています。



サービスの特色

情報通信機器ソリューション

情報通信機器の輸送・保管に加え、キittingや現地セットアップ・動作確認など付帯作業を行うことで、製品の導入からデータ消去、撤去・回収、廃棄、買取までトータルにサポートします。

キittingサービス

製造連携ソリューション

調達から出荷までの一貫物流のほか、荷揃え・組立・品質検査などの生産工程の受託や、在庫管理・受発注管理を提供します。

製造連携ソリューションの提供範囲

自動車部品物流

自動車部品物流のノウハウと実績を活用して、調達物流から混流生産ラインの構内物流や保守サービス部品物流まで、自動車業界のお客様の物流周辺のさまざまなニーズに対応します。

自動車部品物流

スマートロジスティクス

日立物流グループは、スマートロジスティクスによる自動化・省人化を進めた次世代物流センターの実現を加速させており、2019年9月には複数の異なる省人化設備の連携制御によって大幅な省人化を実現した、ECプラットフォームセンター(スマートウエアハウス)を開業しました。

※ECプラットフォームセンターにつきましては、P33-34をあわせてご覧ください。

ピース順立機

デパレタイザー

無人フォークリフト

2019年度の実績

■ 業績(概算値)

売上収益: **3,766億円** (前年度比 +104億円)

営業利益: **228.2億円** (前年度比 +36.4億円)

■ 受注・立上

受注: **20件**

立上: **23件**

- ### 2019年度トピックス
- ・2019年4月: 富山IV期物流センター 自動倉庫棟省人化設備本格稼働 → 医薬品事業拡大と次世代モデルセンターの実現
 - ・2019年11月: (株)日立ライフの流通サービス事業の譲り受け → 日立グループ各工場の製品発送の物流業務を一貫元請し、梱包・輸送一体化によるコスト低減、サービスレベル向上
 - ・2019年12月: つくば物流センター増築棟 稼働開始 → 建設機械保守部品向け物流センター機能のさらなる強化

LOGISTEED実現に向けた施策

日立物流とKDDI(株)は、5Gの活用による各種センシングやAIによる画像認識技術などを駆使し、物流センター運営のみならずロジスティクス全体の最適化をめざす実証実験を、共同で行うことを発表しています。(2019年10月共同リリース) 2020年度は日立物流の首都圏地区にて、5G環境を活用した実フィールドでの各種実証実験を実施します。

5Gを活用した物流の高度化(KDDI協創)

物流は新領域へ LOGISTEED デジタルプラットフォーム

IoT x DX

安全・信頼 生産性

SC 最適化 DATA BCP対応

SSCC

Robotics HITACHI

ESGトピックス

■ 当社の取り組み

- ・輸送モードの見直しや輸送効率の向上、共同配送によるCO₂排出量の削減
- ・包装の見直しによる廃棄物削減、積載効率向上によるCO₂排出量の削減

■ 2019年度トピックス

- ・2019年8月: 当社グループの(株)バンテックがダブル連結トラックを運行開始(P63参照)
- ・2019年8月: 2019日本パッケージングコンテスト「ロジスティクス賞」「電気・機器包装部門賞」をダブル受賞(P63参照)
- ・2019年11月: 「令和元年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞(新規開拓部門賞)」を受賞
- ・2019年12月: グリーン物流パートナーシップ会議「経済産業大臣表彰」を共同受賞(日立物流ソフトウェア(株))

包装ソリューション

包装技術専門の施設(テクニカルセンター)を有し、定量的な蓄積データと評価試験結果に基づいた最適な包装ソリューションを提案しています。

試験機による包装資材の検証

担当役員メッセージ

業界の先駆者・リーダーとして、最適なサプライチェーンを設計し、優れたサービスをご提供することで、お客様の成長を物流面からサポートします。生活に必要な不可欠なインフラとして、安定した運営により社会を支え続けるとともに、お客様やパートナー会社様とロジスティクスのイノベーション協創に挑戦し、新しい価値を提供していきます。

長尾 清志
執行役常務
営業統括本部長